

カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2014. 8-2号)

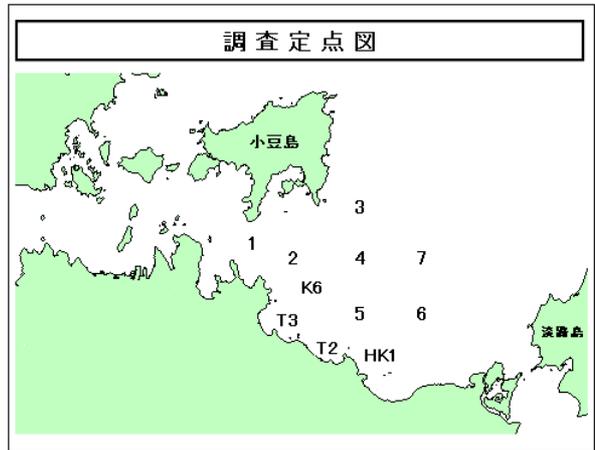
香川県水産試験場 益井

TEL: 087-843-6511

調査日: 2014年8月19日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点(右図)

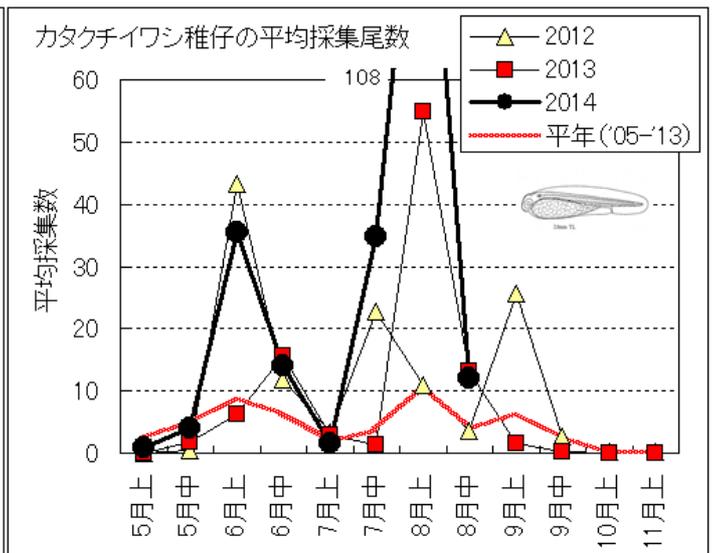
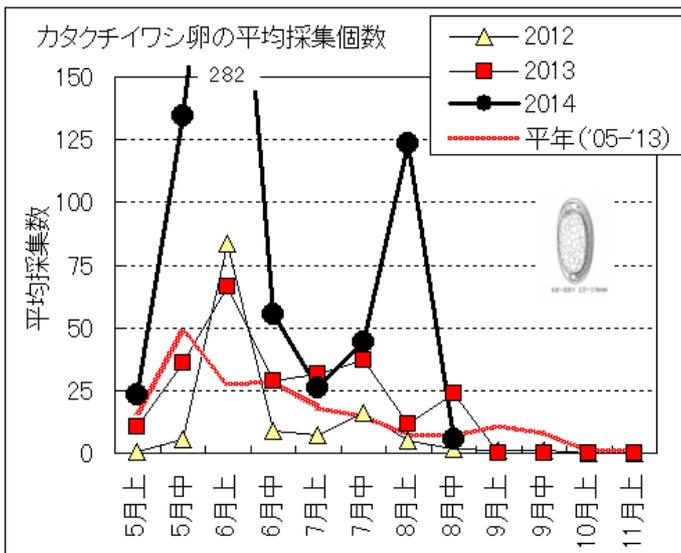


【カタクチ卵】 定点別出現数

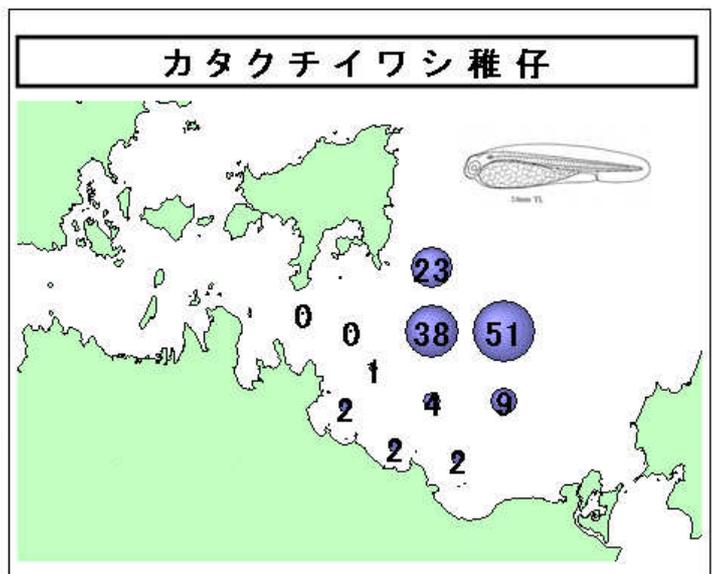
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2012.8.17	0	0	0	13	0	1	1	0	0	0	1	1.5
2013.8.16	1	0	1	88	0	0	169	0	0	0	0	23.5
2014.8.19	0	0	25	0	0	0	34	0	0	0	0	5.4

【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2012.8.17	0	5	13	3	2	3	4	2	1	0	6	3.5
2013.8.16	3	10	10	28	3	46	39	3	1	0	1	13.1
2014.8.19	0	0	23	38	4	9	51	2	2	2	1	12.0



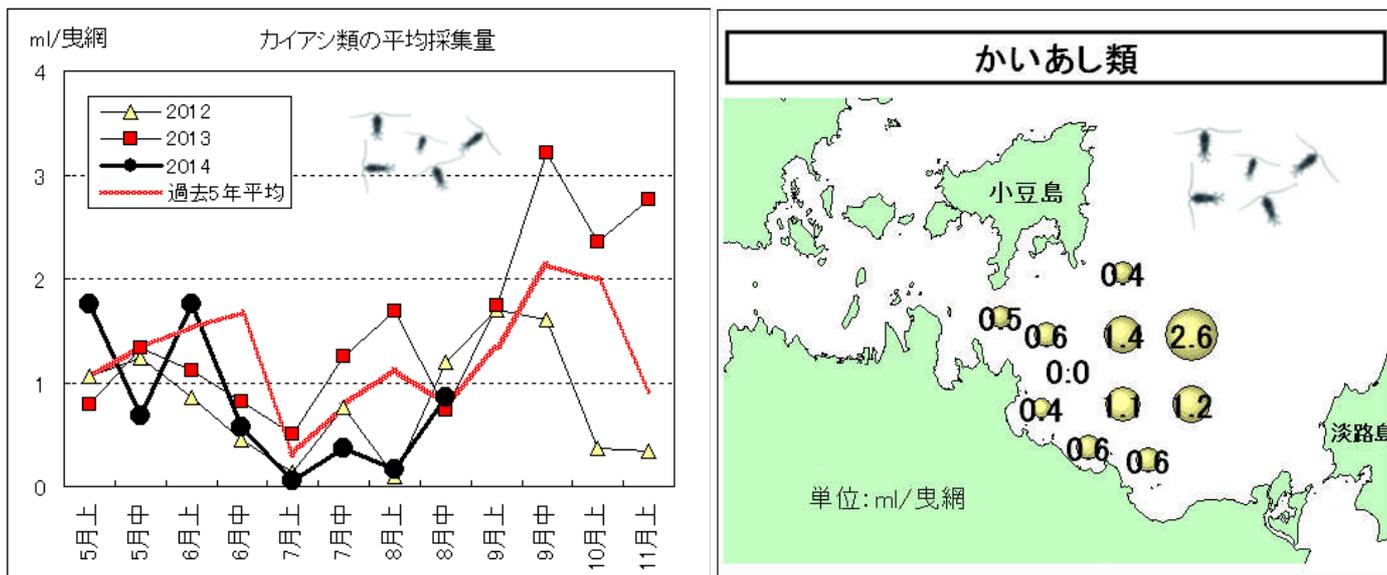
* グラフの値は、播磨灘11定点の平均値を表す。



播磨灘11定点における卵の平均出現数は約5個で、多かった前回(8月1日)から大幅に減少し、平年(05-13年の平均)とほぼ同水準でした。一方、稚仔の平均出現尾数は12尾で、多かった前回から大幅に減少したものの、平年を上回りました。卵・稚仔ともに沖合に集中していました。

餌料生物として重要なカイアシ類は、平年(過去5年の平均)と同水準まで回復していました。

【参考】



カイアシ類採集量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。

※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。
<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>

※次回の調査は9月2日の浅海定線調査に合わせて実施予定です。